

サイクリングで楽しく、お洒落に、健康に！

自転車ツーリング

連載②

山本 邦夫



自転車ツーリング その「1」

前回の「その0」では、自転車ツーリングに行く際の移動手段「輪行」について書かせていただきましたので、今回は、いよいよツーリングに出発です。

その前に、前回の訂正を1つ。しまなみ海道は、「3つある本四架橋の一番東」と書いてしまいましたが、ご覧になった方はすぐに分かったと思いますが、「3つある本四架橋の一番西」が正解です。



(公社)今治地方観光協会ホームページより

さて、そのしまなみ海道とは、広島県の尾道駅前を起点として、向島、因島、生口島、大三島、伯方島および大島を経て愛媛県今治市をつなぐ、約70kmのサイクリングルートです。

起点である尾道駅前から最初の島である向島までは、橋ではなく渡船で渡るため、越えていく橋は6橋になりますが、島と島を結ぶ橋を走る爽快さは、他では味わうことができません。

実際、日本を訪れた世界最大の自転車メーカーであるGIANT社の会長がしまなみ海道を訪れ、世界最高のサイクリングロードと絶賛した、ルートです。そして、このルート+αを、オヤジ4人が3日間で走った顛末をレポートします。



尾道駅前

しまなみ海道のスタート地点、向島に向かう渡船場です。

しまなみ海道に関する地図や案内が書いてあります。

また、これから渡る6本の橋の通行料金は合計500円になるのですが、嬉しいことに期間限定で、今は無料になっています。



各島を結ぶ橋は、水上から40～50mくらいの高さです。橋がかかっているのは瀬戸内海なので、当然、船が通ります。大きな船でも通れるように、橋の高さがこのように設定されています。

6本の橋を渡るということは、全て、その橋の袂までの昇り降りがあるのですが、サイクリングロードは傾斜が緩くなるようなルート作りがされています。

各島では、きれいな海岸線を見ながら、また橋を渡っている時は、眼下に臨む瀬戸内海と静かな海面を滑るように進む多くの船を見ることができます。

写真をあまり撮らなかったので、このレポートを読んでいただいている方々に、素晴らしさを伝えきれないのですが、GIANT会長が言う「世界最高のサイクリングコース」というのは本当だ、と思う瞬間が多くありました。





自転車で一度走り出すと、写真を撮るために止まる、という動作が億劫になってきます。同じような写真ばかりが続いていますが、生口島では有名なジェラートショップに立ち寄り、瀬戸田レモンシャーベットや伯方の塩ソフトなどを食べ、大三島の食堂では、激安の480円の海鮮丼をほおぼり、大島では民宿を兼ねたコーヒーショップで休憩して、宿のおばちゃんと話し込んだりして、しまなみ海道の終点である愛媛県の今治に到着です。

ここから、今日に宿泊地である道後温泉までは、約50kmの道のりです。4人で協議の結果、**自転車乗りのどこでもドア「輪行」**を使ってJR予讃線で松山まで移動し、国内最古の温泉地、道後温泉でゆっくり湯につかり、おいしい食事をいただき、ビールを飲みながら大反省会を行い、明日に備えて早めに眠りについたのでした。